☆☆ 新型コロナウイルス感染症ニュース 第 32 号 2020.9.7 ☆☆

仙台市では、新型コロナウイルス感染症‘第一波’とされる 3 月下旬～5 月上旬と比較し、一日あたりの新規発症数は少ないものの、6 月 18 日以降断続的に発生しています。マスクの着用など「新しい生活様式」が推奨されていますが、今年は特に厳しい残暑のため、同時に熱中症予防対策も継続して行かなければならない日々が続いております。

今号の“新型コロナウイルス感染症ニュース”より、従来の情報提供に加えて、各部会より新型コロナウイルス感染症に関するトピックスも配信させていただきます。

報告 発熱患者さんの直接医療機関への相談について

9 月 4 日に厚労省が、自治体に対し「10 月末までに発熱患者が、(コールセンターなどを通さず)かかりつけ医などの医療機関に直接電話相談できるような体制整備を求め、医療機関は自身の診療所で診療や検査ができない場合に適切な医療機関を紹介できるよう、医療機関の間で情報共有しておくこと」を求めた、と新聞等の報道がありました。**現状、仙台市では、発熱等の患者さんはコールセンターに相談し医療機関を紹介してもらう体制**をとっており、医師会でもこの体制を維持した上に PCR 等検査の委託契約などを進めております。今後の対応は**まだ相談、検討中**であり、変更がある場合には随時速やかに報告いたします。

【参考】https://www.mhlw.go.jp/content/000667889.pdf

(総務部;福壽 岳雄)

解説 在宅医療・介護施設関係の新型コロナウイルス感染症対策について(2020.9.7)

＜抗原迅速検査関係＞

在宅、介護施設では早期発見・初動が大切です。現在、抗原迅速検査が可能になっているので疑わしい患者さんに対してすぐに検査できます。ぜひ有効に活用してください。その場で結果が出るため、直ちに対応を開始できます。ただし鼻咽頭ぬぐい液の検体採取時に PPE が必要なことに注意が必要です。有症状の場合は、2～9 日目は結果について陰性でも陽性でも PCR の追加検査不要ですので、そのまま PCR の結果と同じ扱いができます。

保険診療とするには仙台市との個別の委託契約が必要となります(9 月 1 日付で PCR 検査等の行政検査に関して仙台市と集合契約の締結を行いました。今後、医師会を通して集合契約を結ばれる場合は抗原検査も含まれるので個別契約は不要です)。担当は仙台市健康福祉局保健所健康安全課医務係です。現在利用可能な検査キットは、エスプライン®SARS-CoV-2 (富士レビオ)とクイックナビ ™-COVID19 Ag(デンカ・大塚製薬)があります。他にも体外診断用医薬品承認を受けていない研究用試薬として売られている抗原検査キットがあるので間違えないように注意が必要です。

＜ACP(アドバンス・ケア・プランニング)関係＞

新型コロナウイルス感染症の流行期において ACP は大変重要になります。老年医学会から提言が出ているのでご参照ください。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行期において高齢者が最善の医療およびケアを受けるための日本老年医学会からの提言-ACP 実施のタイミングを考える-」

https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/coronavirus/pdf/covid_teigen.pdf

＜介護施設の集団感染対策＞

最近の介護施設での感染状況を見ると、今わかっている知見に基づいて適切な対処をしていれば爆発的な集団感染はかなり防げるのではないかと思われます。まずは通常の標準予防策(マスク・手洗い)の徹底がはじめの第一歩です。この部分ができていないところも多くあるので、まずは標準予防策の徹底から始めましょう。

介護施設では、まずは持ち込まないことです。職員の健康チェックを徹底しましょう。そして現在 or 過去数日のかぜ症状があれば出勤しないような仕組みづくりをしましょう。かぜ症状が出現したら勤務中でも途中からでも直ちに帰れる体制も整えましょう。家族面会・搬入業者のコントロール、面会場所・受け渡し場所の工夫も大切です。

次に広げないことが大切です。常に自分が無症候で感染している可能性を考えて行動しましょう。常時サージカルマスク着用、手指衛生、休憩室や更衣室でおしゃべりしない、職場で一緒に飲食しないなどの注意が大切です。

＜その他の提言、Q&A など＞

関連学会から以下のような提言や Q&A なども出されておりますので、参考にしてください。

在宅医療・介護を受けている方やその家族にお願いしたいこと　日本在宅医療連合学会
https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200824covid.pdf

在宅医療に関わる医療・介護従事者の使命　日本在宅医療連合学会
https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200824credo.pdf

在宅医療における新型コロナウィルス感染症対応 Q&A（改定第 2 版）Ver2.1
日本在宅医療連合学会
https://www.jahcm.org/assets/images/pdf/20200629_covid19_01_v2.1.pdf

訪問・通所系サービス従事者のための新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応の手引き　日本プライマリ・ケア連合学会
https://www.pc-covid19.jp/files/guidance/homevisit_guidance_1.1.pdf

「在宅医療と介護における COVID-19 対応の課題と解決策、提言タスクフォース」報告書　日本医師会 COVID-19 有識者会議
https://www.covid19-jma-medical-expert-meeting.jp/wp-content/uploads/2020/07/在宅医療_TF_最終案7.2.pdf

（地域医療部、老人保健施設部；堀　義生）

ニュース部より（ 32号担当、松森保彦 ）

今号より“新型コロナウイルス感染症ニュース”の配信をお手伝いさせていただくことになりました。情報の整理と早期配信に努めながら、会員の皆様に役立つ情報発信を行ってまいります。

なかなか収束の目処が立たない現状で、各診療所等が継続的に医療を提供できる体制の確保が必要であり、PCR 等検査の集合契約の締結など新たな取り組みが行われております。次号からも各部会からのトピックスを中心に最新の情報をお届けいたします。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp